

## 歯並びは良くて、 かみ合わせは悪い?



歯並びとかみ合わせはよく混同されがちなのですが、歯並びは単に歯の並び方を指しており、歯並びが良くて上下のかみ合わせが悪いということがあります。かみ合わせが悪いと、噛む筋肉のバランスが悪くなったり、下顎の位置がずれてしまい、顎の痛みや口が開きにくいなどの不調につながります。そして、かみ合わせが悪いことで起こる顎の筋肉の不調和を補正しようと、周囲の筋肉にも大きな負担がかかり、頭痛や肩こり、首の痛みを引き起こし、全身の不調にまでつながることがあります。

### かみ合わせに影響する主な原因

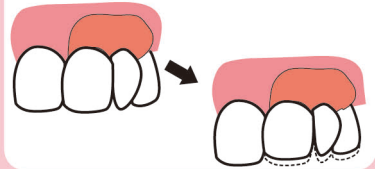
#### 日常での悪い姿勢やクセ

頬づえをつく、足を組む、などのクセが影響する場合があります。



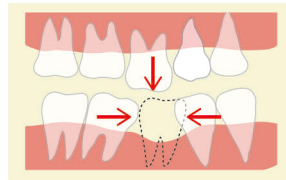
#### 不適な被せ物や入れ歯など

入れ歯がすり減ったり、被せ物が合っていないと、かみ合わせに影響します。



#### 歯が無いまま放置

周囲の歯が傾いたり移動してかみ合わせに影響します。



#### むし歯や歯周病を放置

歯周病で歯がグラグラしたり、むし歯で歯が崩壊すると反対の歯とうまくかみ合いません。



#### 歯ぎしりや食いしばり

歯がすり減ってかみ合わせに影響するだけでなく、歯の寿命にも影響します。



#### 悪い歯並び

歯並びが悪いと、かみ合わせも悪い可能性が高くなります。



## 将来のトラブルを減らすためにも、しっかり検査



奥歯が痛いのに、どうして  
いろいろ検査するの?

確かにそうですね。しかし、歯の治療はそうもいかないものなのです。

例えば、痛いと思っている歯が、実は痛みの原因ではないことがあります。そのため周囲の状態もよく調べる必要があります。

また、すぐに症状を出さない隠れた疾患は、その後様々なトラブルを起こす原因になるので、お口の中全体の状態を調べることはとても大切なのです。



歯と歯の間や  
初期のむし歯



すぐに症状を  
出さない  
隠れた疾患

初期の歯周病



詰め物と歯の  
間のむし歯



歯の根っこの疾患



悪いかみ合わせ

